

令和七年度
高等学校入学選抜学力検査問題

第一部

国語

注意

- 1 問題は、**一**から**四**まであり、11ページまで印刷してあります。
- 2 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 3 問いのうち、「……選びなさい。」と示されているものについては、問いで指示されている記号で答えなさい。
- 4 問いのうち、字数が指示されているものについては、句読点や符号も字数に含めて答えなさい。

一 次の問いに答えなさい。(配点 28)

問一 (1)、(2)の――線部の読みを書きなさい。

- (1) 塩分を過剰にとる。
- (2) 姉が私の言葉を遮る。

問二 (1)、(2)の――線部を漢字で書きなさい。

- (1) 国際会議の話題がソクホウで流れる。
- (2) 子猫が足元にヨって来た。

問三 (1)、(2)の漢字と同じ部首が使われている行書で書かれた漢字を、それぞれア～エから一つ選びなさい。

- (1) 煮

ア 者 イ 鳥 ウ 緒 エ 熱

- (2) 趣

ア 迎 イ 起 ウ 取 エ 聴

問四 次の文の に当てはまる表現として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

彼は誰にでも優しい。ところが、。

- ア 自分自身に対してはとても厳しい
- イ 他人の立場で考えることができるからだ
- ウ 多くの人から感謝されている
- エ 思いやりのある行動ができるということだ

問五 次の文章を読んで、(1)～(3)に答えなさい。

ある人、五月雨の晴れ間に、里づたひの道をゆく。月は浮雲の薄きに包まれ、芝生露敷いて、貫きとめぬ玉¹の数は、崑山^{こんざん}もかくやおぼしきに、眺めもいとど長き江を南向きてゆく。芦^{あし}もまばらに刈る沢のあやめも分かぬところに、堤^{つぼて}を沿ふて白犬あり。礫^{つぼて}をもつて追へばひたもの逃ぐ。静かにゆけば犬も静かに、止まれば犬も止まれり。かくて追ふと思ひつつ十四、五町ゆく。一声ほゆる事もなし。それより江の堤には沿はず、我ゆく道は横なりしに犬見えずなる。こはいかにと又元の方へ戻りて見れば犬あり。不²思議の思ひをなすに、何の別の事もなし。濁り水に曇りし月の影、映ろひしなり。犬と思ひしときは月と見えず。月と合点^{がてん}して、なにほど犬に見なさんとせしかども、犬はかくて見えざるなり。一念^{おんごん}の趣^{おもむ}くところ異なものにて、十四、五町迷へり。知りて後は、迷ふて見んと思ひしかども、迷はれずと語れり。

(注) 崑山——中国の伝説上の山。
町——長さの単位。一町は約一〇九メートル。

- (1) —線1「玉」とは何のことですか。最も適当なものを、ア～エから選びなさい。
- ア 五月雨の晴れ間 イ 薄雲がかかった月
ウ 芝生の上の露 エ 沢に咲くあやめ

- (2) —線2「不思議の思ひをなすに」とありますが、「ある人」は、ここではどのようなことを不思議に思ったのですか。最も適当なものを、ア～エから選びなさい。
- ア まるで崑山のような美しい景色が川に沿って広がっていること。
イ 土手沿いの道をしばらく歩く間、前を行く犬が一切鳴かないこと。
ウ 進む道を変えると姿を消した犬が、元の道に戻ると姿を現すこと。
エ 川の水は濁っているのに、月がとてもきれいに映っていること。

- (3) この文章の内容に合うものを、ア～エから一つ選びなさい。
- ア 犬の正体が何であったのかがわかった後は、もう進むべき道を迷うことはなかった。
イ 犬だと思っていたものが月の光だとわかると、月の光は二度と犬には見えなかった。
ウ 白い犬を月の光だと見間違えるような奇妙な体験は、一途な思い込みから生まれた。
エ 道に迷ってしまったことで、伝説上の山にいるような不思議な犬に出会うことができた。

二

次の文章を読んで、問いに答えなさい。(配点 36)

(佐々木幸、福井凱将「原体験としての造形―イメージの形成と遊びとしての表現」による)

問一 〓線1、2の読みを書きなさい。

問二 この文章で、『広辞苑』から言葉の意味が引用されている効果を説明したものとして最も適当なものを、ア〜エから選びなさい。

ア 筆者の考えの根拠として言葉の客観的な意味が示されることで、筆者の考えが間違っていないことがより明確になる。

イ 言葉の一般的な意味を確認してから、段階的に論が展開されることで、筆者の考えが理解しやすくなる。

ウ 言葉について様々な解釈が紹介されることで、筆者の考えの妥当性を検討しながら読み進めることができる。

エ 辞書における言葉の意味と筆者の考えが比較できることで、筆者の考えが特殊なものではないことが印象付けられる。

問三 〓線1『あらわす』というより……感じの方が適切でしょう」とありますが、「あらわす」と「あらわれる」の二つの動詞の関係と同じ関係になるように、次の□に当てはまる動詞を書きなさい。

聞く □

問四 〓線2「表現には、伝達の目的をもつ表現とそうではない表現があります」とありますが、「そうではない表現」について、次のようにまとめるとき、□①、□②に当てはまる文中の表現を、それぞれ十一字以上、十二字以内で書き抜きなさい。

表現の目的が □① ことにあり、誰かに何かを伝達するより □② された表現。

問五 〓線3「なぐりがきは『表現』よりは『表出』の側面が強いといえます」とありますが、

「表現」より「表出」の側面が強い例として最も適当なものを、ア〜エから選びなさい。

ア 先生に促されて、地域に向けて案内状を書く。

イ 朝聞いたCMソングが頭の中で何度も流れる。

ウ 休日に公園を散歩しながら、ふと鼻歌を歌う。

エ 舞台のラストシーンでむせび泣く演技をする。

次は、中学生の白川さんが、夏休みの課題で「地域のつながり」について調べることになり、地域食堂を訪ねているときの会話の一部です。これを読んで、問いに答えなさい。(配点 16)

登場人物

藤田さん——白川さんの幼い頃からの知り合いで、地域食堂で調理を担当している。

吉井さん——地域食堂の近所に住み、趣味で作った野菜を提供している。

藤田さん

今日の夕食は、吉井さんの畑で採れたトマトを使ったハヤシライスよ。どうかしら。

白川さん

トマトの酸味と甘さのバランスが絶妙でもおいしい。さすが藤田さん。

藤田さん

お口に合ってよかった。この味は、私の料理の①があつて、さらに②があつたからこそ生まれたのよ。

吉井さん

そんな風に言ってもらえてうれしいな。そろそろトウモロコシが収穫できると思うから、次はトウモロコシを使った料理をお願いね。

白川さん

その料理も食べてみたい。ところで、吉井さんは農業を営まれているのですか。

吉井さん

いえいえ、定年退職してから、趣味で作った野菜を、ここで使ってもらっているんですよ。

白川さん

そうだったんですね。この地域食堂は毎週水曜日に開かれているとのことですが、毎週こちらに来ていられるのですか。

吉井さん

そうですね。ほぼ毎週来ています。

白川さん

実は私、夏休みの課題で「地域のつながり」について調べることになって、知り合いの藤田さんをお願いして、こちらにおじゃましています。よかつたら、この食堂に関わっていて、普段感じていることを教えていただけますか。

吉井さん

いいですよ。ここに来るようになって二年たちますが、外を歩いているときに笑顔であいさつを交わせる人が増えたんですね。顔見知りの人が増えると生活していて安心します。それに、自分が作った野菜が皆さんの役に立つのはうれしいことです。ここで生まれる地域の人とのつながりは、私の励みになっています。

藤田さん

同じ地域に住む人たちと自然にあいさつができるって、それだけで安心しますよね。なるほど。

白川さん

まさにこの食堂は、人と人とのそういうつながりが生まれればという考えで始まったのよ。

藤田さん

そうだ。藤田さんは、この食堂が始まった頃からボランティアをしているのですよね。食堂が始まった頃のことについて教えてください。

藤田さん

そうですね。ここが始まって二十年たつけれど、当時の自治会長さんが、隣人同士の間が弱くなっていることに危機感を抱かれたの。そして、単身世帯の高齢者の方が地域の色々な方と話す場が必要だということが始まったのよ。ちょうどその頃、私も家族で引っ越してきたばかりで、これから生活する地域を知るために関わり始めたの。今では、高齢の方以外にも、小さなお子さんのいるご家族が利用されることも増えたわ。ボランティアの仲間も少しずつ増えて、特に、吉井さんのように退職された方々が積極的に支えてくれているのよ。

白川さん

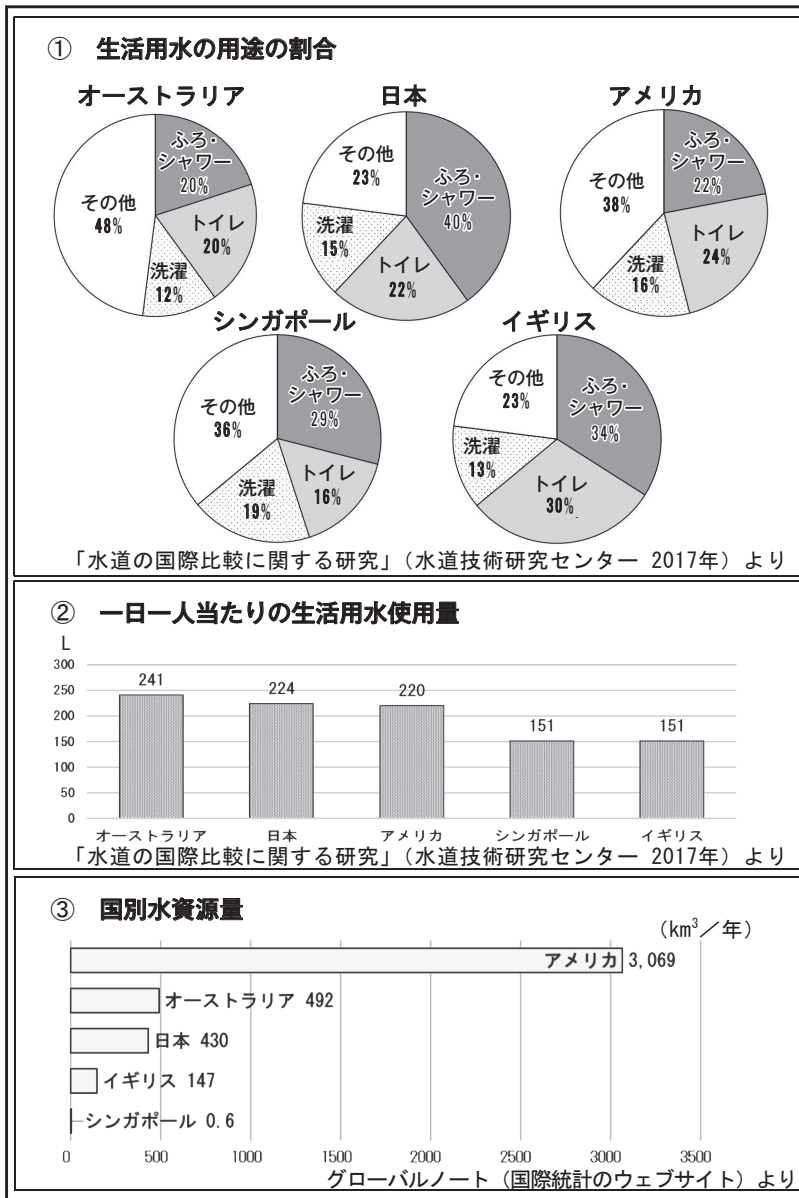
なんだかとても心が温まる話ですね。地域のつながりは、

四

次は、中学校の国語の授業で、「節水」を作文のテーマに選んだ浅川さんが、作文を書くために集めた資料（A）と、作文の下書き（B）です。これらを読んで、問いに答えなさい。

（配点 20）

（A）資料



（B）下書き

地球は「水の惑星」と呼ばれており、地球の表面の三分の二が水で覆われています。しかし、大部分は海水であり、私たちの生活で使用できる淡水はごくわずかしか使えないのです。その多くは北極や南極の氷河や地下水として存在し、河川や湖等の淡水は地球上の水のわずか〇．〇〇八％といわれています。ア 今後、世界の人口増加、社会経済の発展、都市の拡大などにより、地球の水資源の量や質に様々な問題が生じることが指摘されています。イ 特に、世界の人口一人当たりの水資源の量は、地球温暖化による気候変動の影響などから、二〇五〇年までに、二〇一〇年の四分の三になると予想されています。ウ

こうしたことから、各国の生活用水や保有する水資源量について調べ、「水道の国際比較に関する研究」の中から、二つの調査結果を見つけました。エ 「生活用水の用途の割合」と「一日一人当たりの生活用水使用量」を見ると、日本は X。そこで私は、この二つの国で生活用水の用途の割合は似ているのに、なぜ使用量に大きな差が出るのか、その理由を使える水の量に着目して考えました。グローバルノートというウェブサイト「国別水資源量」を見ると、日本の水資源量は、 Y。日本は、蛇口をひねればいつでも安全な水が出てきます。普段の生活でも、水の大切さを意識することはあまりありません。しかし、水は限りある資源です。そのことを忘れずに、節水を行っていくことが大切です。

問一 (B)の――線部は、適切な表現に書き直す必要があります。内容を変えないように書き直すとき、に当てはまる表現を書きなさい。

私たちの生活で使用できる淡水は 。

問二 浅川さんは、伝えたいことをより分かりやすく、読み手がイメージできるように、次の文を(B)に加えることにしました。どこに加えるのが最も適当ですか。(B)のA～Eから選びなさい。

地球上のすべての水の量をふる一杯分に見立てた場合、暮らしの中で利用できる水の量は、大きじ一杯分なのです。

問三 (B)の X Y に当てはまる表現を、次の条件にしたがってそれぞれ四十字以上、五十字以内で書きなさい。

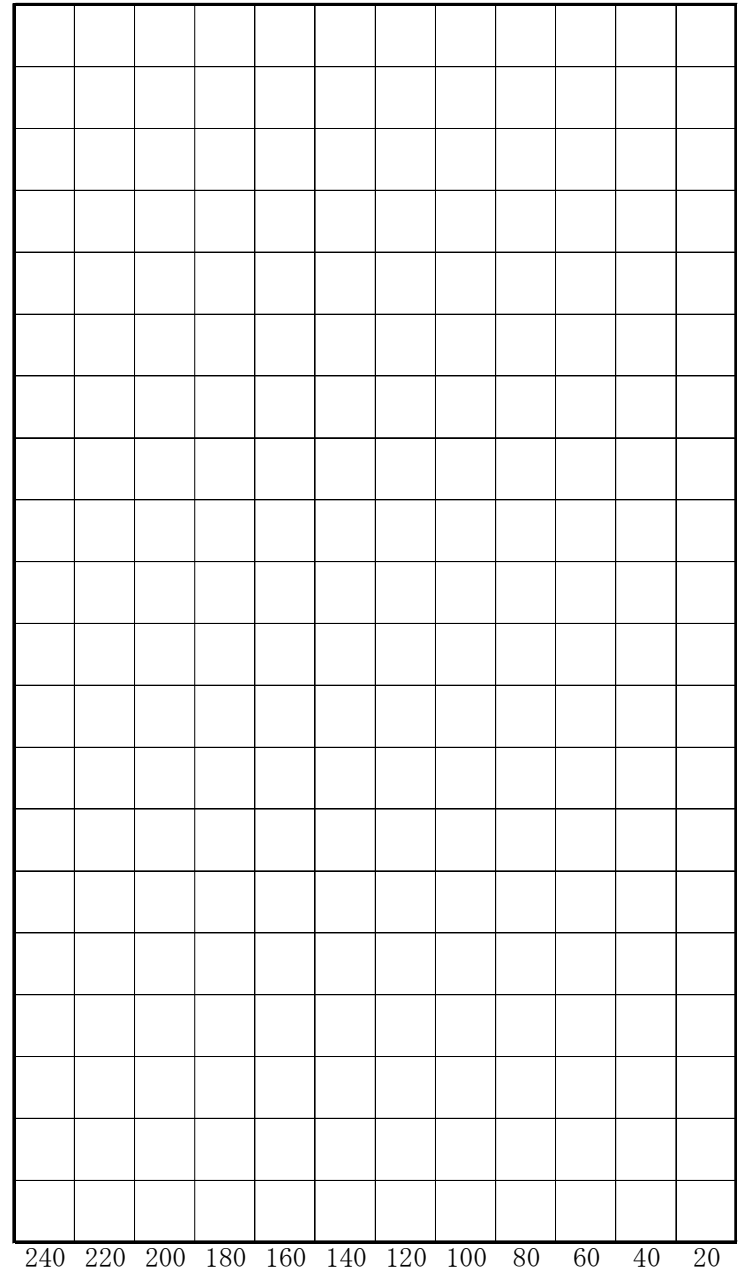
条件1 X は、(A)の①と②から読み取ったことを関連させて書くこと。
 条件2 Y は、(A)の③をもとに、生活用水の使用量に差が出ることの背景として考えられることを、作文のテーマである「節水」と関連させて書くこと。

問四 浅川さんは、普段の生活の中で節水のために取り組もうと思うことを(B)の に書くことにしました。あなたが浅川さんになったつもりで、次の資料(C)を用いて書きなさい。

(C) 資料

| 用途別使用量の目安 | | |
|-----------|---------------|---------|
| 用途 | 使い方 | 使用量 |
| 歯みがき | 30秒間流しっぱなしの場合 | 約6リットル |
| 洗面・手洗い | 1分間流しっぱなしの場合 | 約12リットル |
| シャワー | 3分間流しっぱなしの場合 | 約36リットル |
| 食器洗い | 5分間流しっぱなしの場合 | 約60リットル |

東京都水道局のウェブサイトより



左の枠は、下書きに使って構いません。解答は必ず解答用紙に書くこと。